

(3) 市営住宅を含む住まいに関する課題整理

【課題の概要】(課題通し番号3, 6, 29)

- グループホーム等、障がいのある方が住むところが少なくまた定員も少ない。また、空き物件の情報が見つめず活用できない
- 精神障がいのある方の入居等に関する支援において、不動産屋で障がいをオープンにすると部屋(賃貸住宅)の契約がしづらくなる。保証会社の審査が通らない(通りにくい)
- 札幌市営住宅条例第5条第2号に規定する精神障がい者、知的障がい者を単身入居要件から除外しているのは大きな問題である

まちプロ
として
せいり
整理

★現在の取り組み・工夫

- 東区地域部会では「障がいのある方たちの住まい探し」というテーマで不動産会社を講師に招いて講演会、シンポジウムを開催
- 中央区地域部会では「障がい者が安心して暮らせる住まいを確保するために」というテーマで不動産会社を講師に招いて講演会を開催
- 厚別区地域部会では「住まいチーム」の取り組みとして、障がい者の住まいについて、専門家を招いて、厚別区と他の自治体との比較、他の自立支援協議会の取り組みについて学び、意見交換を実施している。
- 障がい者相談支援事業所では、市営住宅への入居に関する相談を実際に受けており、市営住宅に限らず住まい探しの相談を受けている
- 石狩管内の8市町村のうち、3つの自治体で実際に公営住宅に単身の知的障がい者、精神障がい者が入居できる

【課題解決に向けた方向性】

◆新たな事業や既存の社会資源の活用

- 各区地域部会で住まいに関する勉強会や検討を行う
- 各部会から住まいの課題に関心のある人に集ってもらい、住まいに関する研修の実施や不動産業界に理解をしてもらうためのパンフレットの作成などを行う

◆制度の拡充

- 市営住宅の運用を見直し、単身の精神・知的障がい者でも入居できるようにする
- ⇒まちの課題整理プロジェクトチームとしてまとめた東区課題17のケース概要、障がい者相談支援事業所における市営住宅に関する相談例、石狩管内の状況について、市営住宅の精神・知的障がい者の単身入居の検討窓口となっている担当者へ情報提供した

すでに市営住宅担当者へは情報提供済み。今後中央区地域部会へ長期的検討を依頼、本プロジェクトもバックアップしていく。

平成26年度の取組(中央区地域部会が担当)

- 中央区地域部会定例会において「住まいについて」勉強会を実施。今後の課題整理に繋げていく。

1. 7月16日「みんなが思うあったらいいな2014」を実施
グループワーク形式で話し合い、住まいについての問題点を抽出。
2. 9月17日「市営住宅」についての勉強会を実施
札幌市住宅課の方に話をさせていただく。

- 「住まいに関する課題」について、関係者に集まってもらい情報共有・意見交換を行う。

参加者：中央区部会事務局及び7地域部会と札幌支援協の方 計21名

議題

1. 東区、清田区、北区、中央区における住まいについての具体的な取組内容の報告。
2. 札幌支援協の住まいについての取組内容の報告。
3. 意見交換会
 - (1) 住まいの分類(グループホーム、アパート、市営住宅、その他宿泊体験や有事の際の対応)について
 - (2) 家主や管理会社への情報提供として暮らしの履歴書等の活用について。
 - (3) 広報活動としてDVDの作成について。
 - (4) 住まいの確保 大家さんに理解してもらい、宿泊体験、入居後の定着について。
 - (5) 居住支援協議会、その他北海道宅地建物取引業協会等と連携。

- 中央区地域部会事務局会議での取り組み方等の検討 6回実施

- 中央区地域部会としての今後の取り組み(案)

1. 元気サーチの使い勝手を考えるプロジェクトを立ち上げる
2. 周知・啓発活動=セミナーの実施
3. 居住支援協議会との連携
4. 見える化=DVD、パンフレット等の作成
5. 地域部会事務局内での役割分担
6. 障がい者当事者へのアプローチ

- 取り組みについての悩み・困り感

取り組みの内容や方向性のある程度中央区地域部会で整理してから、全市(全地域部会)へ声掛けしようと思っています。その際の取り組みメンバーや方向性の提案をどうしたらよいか事務局の中で苦慮しています。

へいせい ねんど とりくみ ちゅうおうくちいきぶかい たんとく
平成27年度の取組（中央区地域部会が担当）

- 「元気サーチの使い勝手を考える」取組みを実施。

さっぽろしじりつしえんきょうぎかいとう とお かんけいだんたい こじん つか
札幌市自立支援協議会等を通して関係団体や個人に使っていただくよう呼びかけをした。

- 中央区地域部会事務局に編集委員会を立ち上げ編集作業を実施（計4回）

こうえき しゃだん ほうじん ぜんこく たくち たてもの とりひきぎょう きょうかい れんごうかい はっこう ひとりく
公益社団法人全国宅地建物取引業協会連合会発行の「はじめての一人暮らし

が い ど ぶ っ く しょう しゃ わ へんしゅうさぎょう おこ
ガイドブック」を障がい者に分かりやすいように編集作業を行った。

げんざい こうえき しゃだん ほうじん ぜんこく たくち たてもの とりひきぎょう きょうかい れんごうかい たい ひとりぐ
現在、公益社団法人全国宅地建物取引業協会連合会に対して、「はじめての一人暮らし

が い ど ぶ っ く しょう しゃばん はっこう りかい きょうりょく ねが
ガイドブック障がい者版」発行へのご理解とご協力をお願いしている。

しょう しゃばんげんこう こうせい おねが さいしゅうてき さっし よてい
障がい者版原稿の校正をお願いしており、最終的に冊子にする予定。

- 次年度に、宅建協会等との勉強会を検討。

- 取組みについての悩み・困り感

と く ないよう ほうこうせい ていどちゅうおうくちいきぶかい せいり ぜんし ぜんちいきぶかい
取組みの内容や方向性のある程度中央区地域部会で整理してから、全市（全地域部会）

こえが かんが さい と み ほうこうせい ていあん
へ声掛けをしようと考えています。その際の取組みメンバーや方向性の提案をどうし

たらよいか事務局の中で苦慮しています。